

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期芦北町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県葦北郡芦北町

3 地域再生計画の区域

熊本県葦北郡芦北町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、戦後に急増し、1950（S25）年に人口のピーク 37,724 人を迎えて以降、減少が続いており、2020（R2）国勢調査では 15,681 人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060（R42）年には 5,019 人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1950（S25）年の14,680人をピークに減少し、2020（R2）年には1,619人となる一方、高齢人口（65歳以上）は1990（H2）年に初めて年少人口を上回り、2015（H27）年には7,058人まで増加、2020（R2）年には7,030人となり、高齢化率は44.8%に達している。また、生産年齢人口（15～64歳）も1950（S25）年の20,721人をピークに減少し、2020（R2）年には7,032人となっている。

自然動態をみると、出生者数は、旧田浦町との合併を行った2005（H17）年は129人であったが、2016（H28）年に初めて100人を下回り、2023（R5）年には55人となっている。一方、死亡者数は2005（H17）年には285人、2012（H24）年からは一貫して300人を超えており、2023（R5）年には383人と、増加の一途をたどっている。1990（H2）年、初めて死亡者数が出生者数を上回る自然減に転じて以降、その減少幅は拡大を続けている。

社会動態をみると、2005（H17）年は転出者数が転入者を上回る社会減が▲153人であった。2023（R5）年に▲46人となっている。年による減少幅の変動はあるものの、1975（S50）年以降、社会減が長期的に続いている。年齢階級別の人口移動状況

をみると、若年層の転出超過が他の世代に比べて著しく高く、その傾向は依然継続している状況である。

人口減少が進めば、労働力人口減少、消費市場縮小による地域の経済活動停滞等を招き、地域活力が低下することでさらなる人口流出を引き起こすという悪循環に陥る恐れがある。

これらの課題を解決するため、結婚や出産を望む人が希望をかなえられるような環境づくり、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりを進めるとともに、地域の魅力を高める施策を展開し、移住・定住を促進することで、自然減や社会減による急激な人口減少を抑制することを目指す。

本計画期間において以下の基本目標として掲げ、目標の達成に取り組んでいく。

- ・基本目標 1 活力と雇用をつくる
- ・基本目標 2 地域の魅力をつくる
- ・基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望がかなう環境をつくる
- ・基本目標 4 暮らしを支える基盤をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2028年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町の総人口に対する20歳 ～39歳人口の割合	9.9%	9.8%	基本目標 1
イ	25歳～44歳までの社会増 減数	転出超過数 29人	転出超過数 20人	基本目標 2
ウ	町の15歳～49歳の女性人 口に対する母子手帳発行 数の割合	3.2%	4.0%	基本目標 3
エ	推計人口	13,956人	12,600人	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

５－２のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【Ａ２００７】

① 事業の名称

第２期芦北町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 「活力と雇用をつくる」事業

イ 「地域の魅力をつくる」事業

ウ 「結婚・出産・子育ての希望がかなう環境をつくる」事業

エ 「暮らしを支える基盤をつくる」事業

② 事業の内容

ア 「活力と雇用をつくる」事業

稼げる農林漁業の推進や企業等と連携したブランディングの推進、地元
高校と連携して地域の活力向上を図る事業

【具体的な事業】

- ・農業と観光の連携による産業創出事業
 - ・企業誘致事業、デジタル人材受入・育成事業
 - ・芦北高校の魅力向上を支援する事業
- 等

イ 「地域の魅力をつくる」事業

観光産業による地域の魅力づくりや、移住・定住支援による地域の活力
向上を図る事業

【具体的な事業】

- ・観光施設整備、イベント開催事業
 - ・移住体験住宅の活用、移住体験プログラム事業
 - ・情報発信事業
- 等

ウ 「結婚・出産・子育ての希望がかなう環境をつくる」事業

結婚や出産を望む人が希望をかなえられるような環境や、子育て環境の

充実を図る事業

【具体的な事業】

- ・ 婚活事業、婚活イベント開催支援事業
- ・ 妊娠期から子育て期の経済的負担軽減
- ・ 子どもが安心して遊べる環境を整備する事業 等

エ 「暮らしを支える基盤をつくる」事業

質の高い、安全・安心な暮らしを整備する事業

【具体的な事業】

- ・ 空き家バンク事業
- ・ 農業集落排水施設更新、合併処理浄化槽の設置推進
- ・ 持続可能な公共交通の推進 等

※なお、詳細は第3期芦北町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400,000 千円（2025年度～2028年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

事業の評価については、毎年度9月頃に内部評価のうえ、外部検証組織により検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

検証後速やかに本町公式WEBサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2029年3月31日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日まで